

第9回遼寧大学-佐賀大学国際パートナーシッププログラム報告

去る2018年12月11日と12日に中国の遼寧大学で開催された第9回遼寧大学-佐賀大学国際パートナーシッププログラム(The preparative Chemistry and Advanced Materials, 2018)のために遼寧大学化学院を訪問しました。本学理工学部機能物質化学科からの参加者は大学院2年の中溝祐志君、大学院1年の日種隆敬君、4年生の坂村僚太君の学生3名と川喜田英孝准教授、藤澤智績准教授、大渡の教員3名でした。

初日は遼寧大学のSONG Xi-ming教授の挨拶と本学からの参加者の紹介の後、佐賀大学の化学工学研究室にも9ヶ月在籍したことのある遼寧大学のXIONG Ying教授の開会宣言がありました。その後、本学から大渡、遼寧大学のSUN Yin-lu准教授の招待講演がありました。また、午後のポスター発表のために選ばれた20名のうち前半O/P01からO/P10までの学生が5分のフラッシュ発表を行いました。昼食の後、後半O/P11からO/P20までの学生が5分のフラッシュ発表を行いました。その後、奇数と偶数のポスター番号に分かれて計46件のポスター発表が行われました。発表者は本学と遼寧大学以外にも瀋陽化学技術大学と瀋陽師範大学からの学生さんも参加し、活発な議論を行っていました。また、夜は参加教員と本学からの参加者で懇親会を行い、研究や教育、それぞれの進展などについて話をしました。

2日目は本学の川喜田英孝准教授、遼寧大学のLI Shuo准教授、本学の藤澤智績准教授、遼寧大学のMAO Quanxing准教授がそれぞれ招待講演を行いました。本学の発表に比べ、遼寧大学側の研究内容は中国の政府の方針に合わせて材料系のものが多く、より実用的な研究の印象がありました。午後はポスター発表者にそれぞれSONG Xi-ming教授と大渡の署名の入った参加証明書が送られました。SONG Xi-ming教授による閉会宣言があり、無事にプログラムを終了しました。その後、清王朝初代と2代目の皇帝がまつられた瀋陽の故宮に引率していただき、中国の規模の大きさと歴史の長さを感じました。学生だけでなく准教授2名も初めての訪中で、感銘を受けておりました。最低気温がマイナス10℃を下回る寒い中で熱い議論を交わし交流が深められたと思います。



参加教員の集合写真



学生によるフラッシュ発表



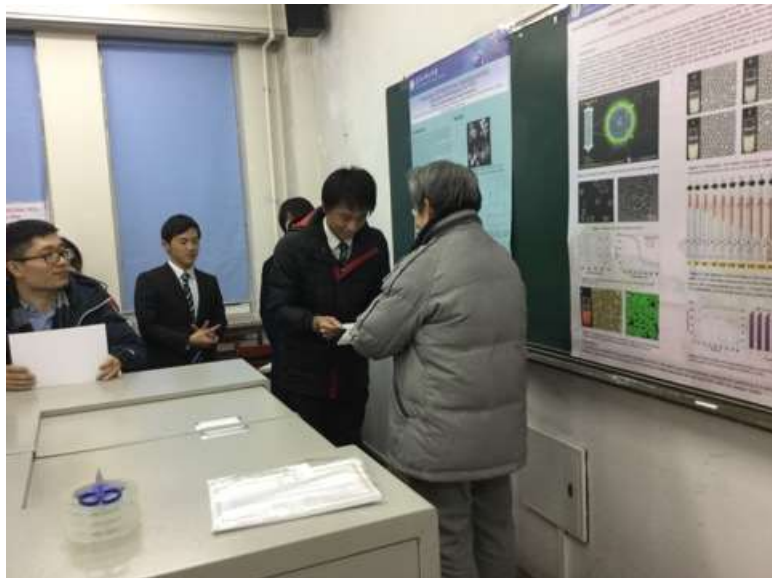
ポスター発表会の様子



川喜田准教授の発表の様子



質問を受ける藤澤准教授



ポスター発表参加証授与式の様子



訪問日のレセプションの様子



エクスカーションで連れて行っていただいた世界文化遺産の清瀋陽故宮で集合写真



同行してくれた大学院生 CHENG Jianin さんと